VGC-306262H型　単棟

建築面積	37.03m² （11.22坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
後柱	⊏-115 x 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
後面シャッター柱	⊟-85 x 77.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	54.8
中柱 左右	⊏-85 x 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
中柱 左右（TR）	⊏-85 x 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	79.5
後面シャッター桁	⊟-335.5 x 77.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	⊏-182.5 x 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中（TR）	⊏-180.5 x 79	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	⊏-155 x 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	⊂-25 x 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
中枠補強 柱左右	⊓-260 x 121	2.3mm+2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	51.2
中枠補強 桁	⊔-260 x 185	2.3mm+1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	50.3
中枠補強 三角プレート	◸-400 x 400	4.5mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	

構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	⌈-430 x 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下枠	⊓-81 x 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⊔-26 x 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間柱	⊏-31 x 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋根	⩘-88 x 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⌐-14.5 x 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し後	⊏-122 x 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケラバ	⊏-130 x 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

・布基礎断面図　縮尺=1/20

（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm²以上
基準風速 34m/s，地表面粗度区分Ⅲ）

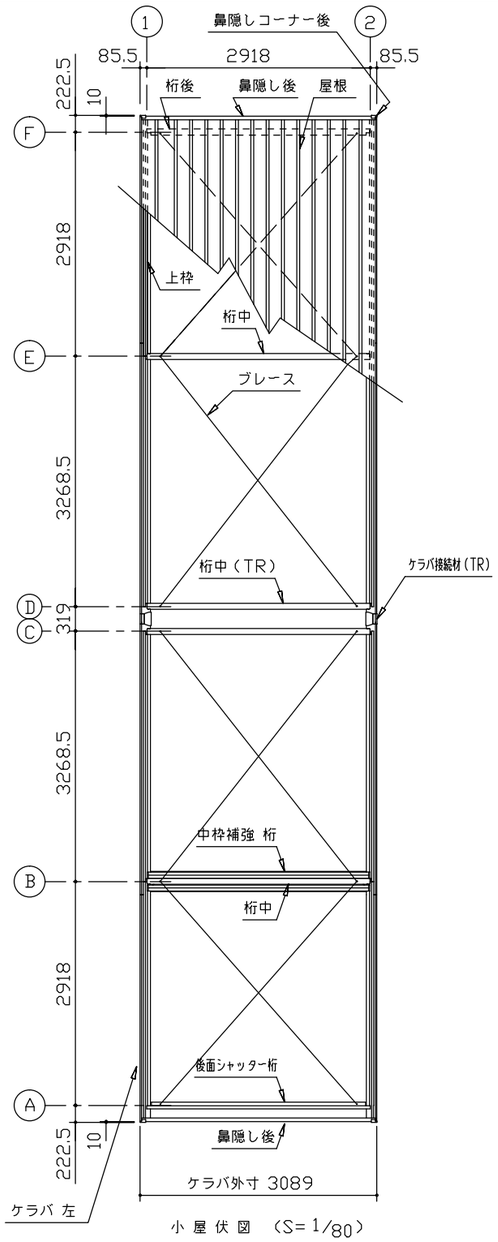
＜上記条件での参考図です。＞

注１）地耐力が 50kN/m² 未満の場合は、地耐力に応じた底盤幅に変更して下さい。

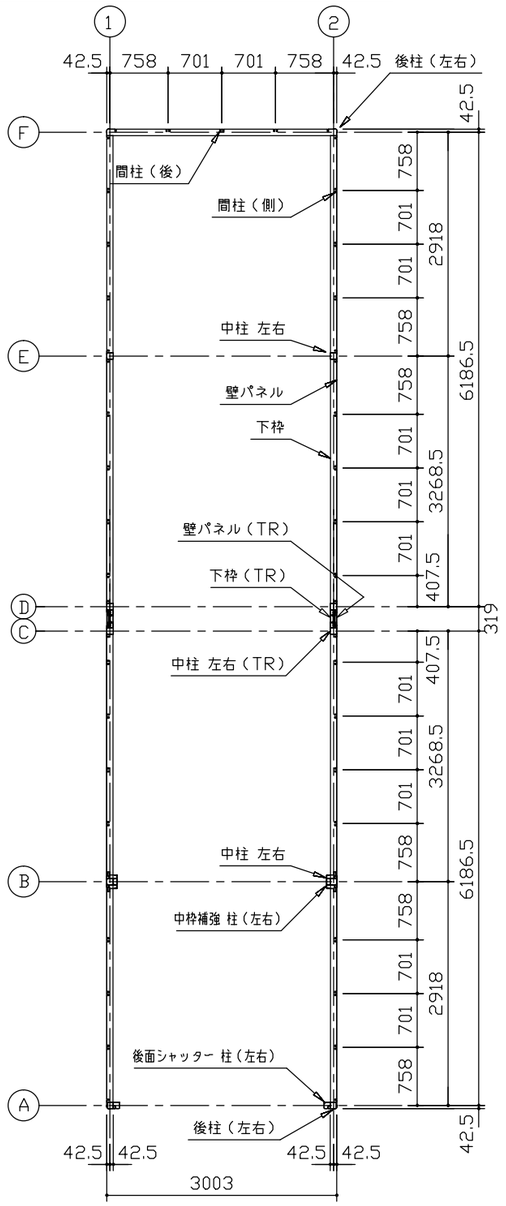
注２）寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。

注３）その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

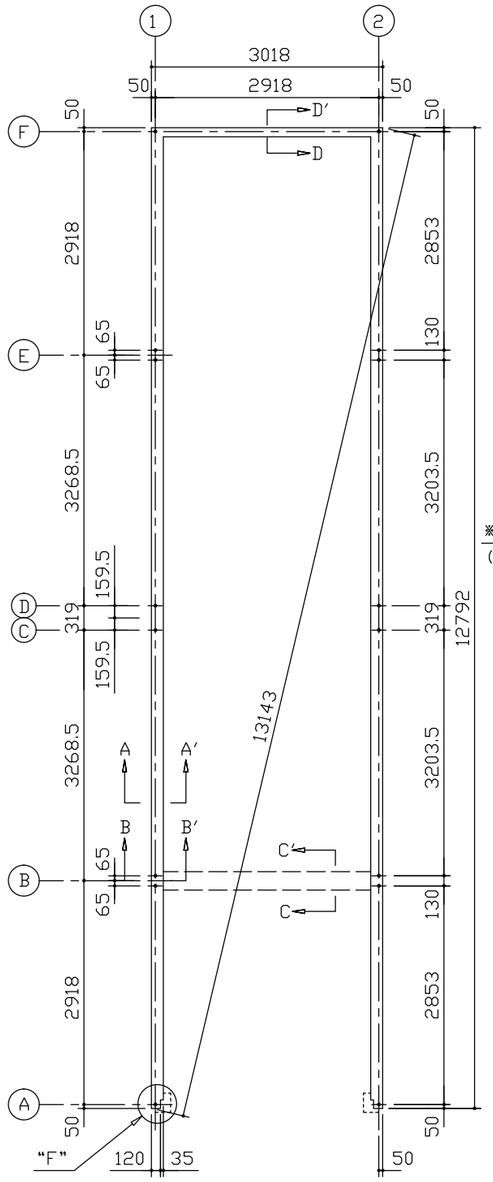
アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



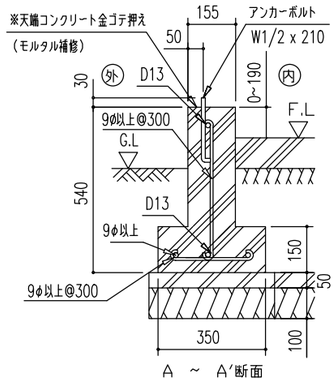
小屋伏図　（S=1/80）



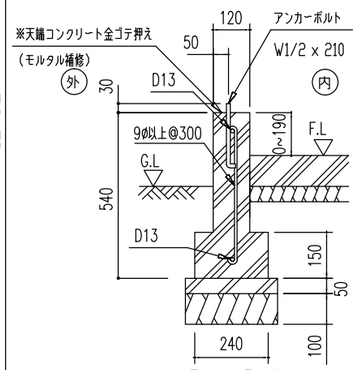
平面図　（S=1/80）



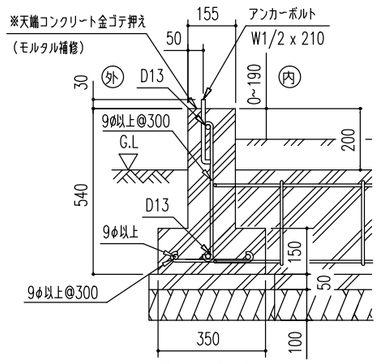
布基礎伏図　（S=1/80）



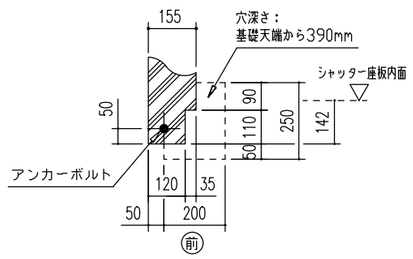
A ～ A′断面



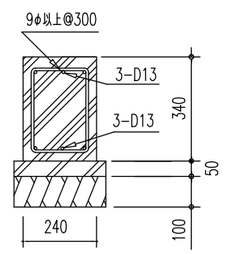
D ～ D′断面



B ～ B′断面



"F" 部詳細図
（S=1/20）



C ～ C′断面

＊有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
機種名	VGC-306262H 型（単棟）

株式会社 淀川製鋼所